

# 小山内裏公園のクモ 晩夏～秋

クモはすべて肉食性で、卵→幼体→成体の順に成長します。昆虫と違ってあしが8本あります。網をはらないクモも糸を出すことができます。オス・メスほぼ同じ大きさのクモと、コガネグモ類のようにオスが極端に小さなクモがいます。また、オスとメス、成体と幼体で模様などが違ってきます。

あみをはるクモ



**ワキグロサツマノミダマシ**

緑色で、からだの横は褐色です。



**オオシロカネグモ** 水辺などに水平なあみをよくはります。



**コガタコガネグモ**

かくれ帯はX字型。



**ナガコガネグモ** 田んぼや草むらにあみをはります。



**オナガグモ** 木立の枝先の上に簡単な網をはり、それを伝ってきた他のクモを食べます。



**ジョロウグモ** 木立の間にあみをはります。秋に多いです。

あみをはらないクモ



**ワカバグモ** 草むらなどによくいます。成体で冬をこします。



**テニツツハエトリ** 草むらなどでくらし、小さな虫をとらえて食べます。



**アスチグモ** 花の上において、花にやってくる虫を食べます。